

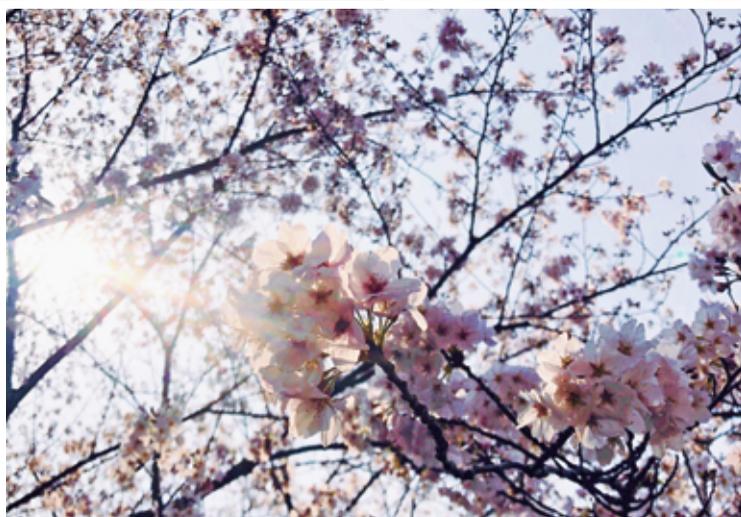
Printalk

特集 | THE 永久保存版

¥0でできる! イベント配信

連載 | マルワアカデミー

いきもの平針紀行



8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

特集 ¥0 ができる! イベント配信

去る1月27日、マルワ社内の委員会活動を社外へ発信する「委員会発表会」をオンライン配信で開催しました。この配信イベントは、スタッフは全て社員、配信・集客システムは、全て無料のツールを使っています。つまり、**実質ゼロ円**。※外部講師料・機材費は除く
企画から配信当日まで、無料開催のためのマル秘情報を大公開します！



1 企画 開催1か月前

コンセプトの決定
今回のコンセプトは、「マルワアカデミー」に決定。マルワは昨年未のリンパーションを経て、今まで以上に見せる会社、魅せる活動を推進し、将来的にマルワを学びの場として提供する「アカデミー化構想」を掲げていることからこのテーマを選びました。序章を表す「0(ゼロ)」と「BEYOND ZERO」(CO2削減)を掛けて「マルワアカデミー0」のメインビジュアルが完成。メインカラーは、アカデミー感のあるえんじ色を選択。



対談企画
社員による発表の他に、ゲストをお招きした対談も企画しました。対談テーマの選定は、“先どり感”を大切にしています。最近目にするが多くなった「エシカル」をテーマに、エシカル・ベネロープ代表 原田さとみさんと、マルワの副社長も携わる洋服ブランド「BTWプロジェクト」より梅澤ルミ子さんにゲスト出演していただきました。

2 集客 開催3週間前~

イベント管理システム

「Peatix」を利用しています。WEB上でアカウントを取得し、必要事項を埋めるだけで誰でも簡単に告知ページを作成し、配信チケット販売ができます。申し込みフォームの作成、聴講者へのメール送付などの機能も充実しています。

! ¥0ポイント

Peatixの告知ページ

▶ イベント開催に必要な最低限の機能が無料。イベントが無料開催の際は手数料も無料なのが有難い。
※イベントが有料の際は手数料が掛かる



! ¥0ポイント

メール署名

メインビジュアルバナーを使ったメール署名を作成。
▶ 日々のメールのやり取りの中で、署名部分にてさりげなく告知。自作の無料広告枠と捉えています。

! ¥0ポイント?

DMハガキ

配布を想定した紙媒体の告知ツール。
▶ 今回は、定形郵便物で送れる大型ハガキのサイズで作成。手渡ししてもインパクトがあり、郵送も可能。
※マルワは印刷会社なので、ゼロ円、ということでご容赦を...



3 事前収録 開催10日前

対談部分の事前収録

ゲストとの対談部分は、ノーカットの収録動画をイベント当日に配信。4台のカメラで全体と出演者3名のワンショットを撮影していきます。

編集

編集ソフト上で4台のカメラ映像を元に、一連の映像に統合していきます。PowerPointの画像を合成したり、お名前のテロップを追加したりします。今回はライブ感を出すため、ほぼ編集なしのノーカット。必要に応じて、不要な箇所を切り取り、テロップやBGMを付け加えたりすることも。カメラは、PanasonicやSONYの4Kが撮れるビデオカメラ(マルワの所有機材)など、編集ソフトは、Adobe Premiere Proを使っています。



▲ 昨年末にできたばかりのマルワのセミナールームにて

! ¥0ポイント

使用したカメラ(一部)

▶ 専門機材を使わなくても、お手持ちのスマートフォンもしくは動画が撮れるカメラ、PCで撮影し、無料の動画編集ソフトを使えばコストゼロでも実施可能です。



▶ 使用したカメラ



配信終了、撤収

改善点などを話しながら撤収作業。百戦錬磨のスタッフたちは慣れたもので、30分程度で片付けが終わりました。



6 アフターフォロー

アンケート聴取

Peatixで聴取した聴講者のメールアドレスへGoogleフォームで作成したアンケートを送信しました。

！ ¥0ポイント

▶マルワでは、アンケートを収集したいときGoogleフォームを使うことが多いです。無料ツールですが、集計結果を見ることができ、便利です。



アーカイブ配信

Youtubeの限定公開機能を使って、聴講者の方には約1か月間アーカイブが見られるようにしました。

いかがでしたでしょうか。
スマートフォンやPCがあれば、無料でオンライン配信が可能です。しかし、カメラを切り替えたり、テロップを入れたり、はたまた色々なリスクやアクセシビリティに対応するためには、専門の機材や配信に慣れたスタッフが必要となります。そんなときは、ぜひマルワにおまかせください！！

スタッフ配置

司会者 2名

運営指揮・ディレクター 1名

サブ指揮・サブディレクター 1名

配信されている映像と音声の確認をしながら指示をします。カメラのアングルの微調整や、立ち位置の調整も兼務。

配信機材の操作 1名

カメラの切り替えや音量調整など、用意していた動画の差し込みなど配信で行うこと全般を操作。

タイムキーパー 1名

時間の進み具合を出演者や運営指揮に伝えます。今回も発表の半分が終了した時点で、予定より20分早かったため、発表スピードを指示し、時間調整しました。

アシスタント 1名

司会者への伝言や、出演者の呼び込み、社内からの指摘を伝言するなどの役割があります。

配信規模に比べてやや多めのスタッフ数ですが、スタッフは出演者として発表も行うので、お互いの役割を補いながら進行するために、7人体制にしています。
(普段の配信では、全ての役割を1~3人で行っています。)



4 配信前リハーサル

1週間前~前日

音声チェック

配信が一番多いのが「音声」が聞こえないトラブルです。
主催者、登壇者、視聴者役に分かれてテストを行い、本番と同じ環境で問題がないかを確認します。今回は、ミキサー(音声、BGMなど複数音源が存在する場で、音声調整を行う音響機器)も使っています。

プラットフォームとの接続テスト

今回は「ZOOM」と見逃し配信ができる「YouTubeのライブ配信」の2つのプラットフォームで同時配信しました。ateniusイッチャー(カメラ映像や音声、PCのPowerPointなどの画像をまとめてオンライン配信できる配信用機材)を使っています。



通信チェック
音声トラブルの原因にもなる「通信の乱れ」にも注意が必要です。無線で通信が安定しないようなら有線接続を使用することをオススメします。
接続が不安な環境では、高速通信が可能なモバイルルーターを準備することも必要です。



カメラテスト
進行台本を元に司会、カメラのアングルやカット割り、配信画面の色味、PowerPointの資料が正常に動作するかなどを確認していきます。



マイクチェック
配信中はマイクのミュートのON/OFFの切り替えに注意です。
マイクがミュートで発言が聞こえないまま、発言者以外のマイクがONのまま、ノイズが入ってしまうなどは、よく起こるトラブルです。配信のプラットフォームによっては、最初から主催者側で視聴者をミュートにする機能などがあるので、活用。

▼司会は、新入社員の2人が務めます。



5 配信当日

音声、通信などを再確認。いざ本番

！ ¥0ポイント

▶今回は、ZOOMとYouTubeのライブ配信を使用。どちらも、基本無料です。ただし、YouTubeは規約上、有料での配信はできない※ので注意が必要です。

※チャンネルメンバーシップになれば可能だが、厳しい認定条件あり。



◀ちなみに、マルワのYoutubeチャンネルはこちら



マルワは「**あいち生物多様性企業認証**」の認証企業です。近隣地域の生物・自然環境に関する記事を連載でお届けします。

いきもの平針紀行

Creature Hirabari Journey

「ツバメのねぐら入り」を復活させる

～細口池公園ヨシ原再生の取り組み～



本格的に暖かくなってきました。皆さんはツバメの姿をもう見かけましたか？

春に飛来し、巣づくりをする姿が印象的なツバメですが、春々初夏の繁殖期を経て秋に再び旅立つまでの間、水辺のヨシ原などを集団のねぐらとします。夕刻、一斉にツバメたちがこのねぐらに帰る様子を「ツバメのねぐら入り」と

いい、数千〜数万羽が飛び交う迫力の光景が見られるそうです。

さて、実はマルワのご近所に東海地方でも有数の「ツバメのねぐら入り」スポットがあります。平針運転免許試験場から徒歩5分ほどに位置する細口池公園（愛知県名古屋市中天白区平針南）です。細口池公園のねぐら入りは、一度は途絶えかけたのですが、地域住民のボランティアにより復活し、その取り組みが全国ネットのニュースとして取り上げられたこともあります。



▲浅井様

今号、次号2回にわたり平針南学区の浅井正明様にインタビューし、ねぐら入り復活までの軌跡とこれからの取り組みをご紹介します。



早速ですが、活動のきっかけを教えてください。

2009年まで細口池のヨシ原をねぐらに1万羽ともいわれるツバメが飛来していましたが、ハド口で埋まった池の水位を上げたため、ヒメガマが池全面を占有しヨシが衰退し、ツバメがねぐらとして利用できなくなりました。

2011年から生物多様性センターと「生きもの調査」を行う中で地域住民からツバメを呼び戻そうとの声が上がりました。2013年に住民組織「生きもの復活クラブ」が設立されました。

「ツバメのねぐら」を復活するため、どのような活動をされましたか？

「あいち生物多様性企業認証制度」とは

愛知県では「あいち生物多様性戦略2030」（2021年2月策定）に基づき、各地域において、企業、大学、環境保全団体、行政等の多様な主体の連携による生物多様性保全に関する取り組みを推進しています。

その中で、企業は企業敷地を活用した「バイオームの整備や社員の保全活動への参加など大きな役割を担っていることが

ら、今後、多くの企業がより一層熱心に取り組み、地域の核となって生物多様性保全に貢献していくことが期待されます。

そこで、愛知県では、企業の生物多様性保全に関する取り組みを促進するため、優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を2022年度から実施しています。

本制度を通じて、取組意欲の醸成と他企業への波及を図り、優良な取組が県内に広がることを目指します。

- ①池の水位を60センチメートル下げる（平常水位に戻す）
- ②遮光シートを敷設し、ヒメガマを根茎から枯死させる
- ③ヒメガマを根茎から抜き取り根茎から切除する
- ④ヒメガマを刈取る
- ⑤ヒメガマの衰弱・刈草マルチングで生長を抑制
- ⑥ヨシに陽光を当て成育を促進
- ⑦ヨシの刈り取りを抑制し、種子の結実と散布・発芽を促す

▼シート張り



▼細口刈取り



「ヘッド口が30から40センチあるので体力もいるし、臭いもキツイ。とても地道な活動です。そんな地道な活動を行っても、一度、離れたツバメが、戻ってくれるか不安でした」



そう話されているのが印象的でした。また、ツバメが戻ってきてほしいと願い、有志で活動が行われている地域住民の皆様のご協力もいただきました。



さて次号では、もう一つの取り組み「生きもの調査」のことや、復活後の反応、今後の活動などについてお聞きします。

2023年2月～3月の『環境王』

- 不要な紙を使って「造花」つくりま〜す！
- 【アップサイクル】「インターン」
- リユース！壊れた台車を大改造します！
- シイタケから生物多様性を学びたい！〜前編〜
- シイタケから生物多様性を学びたい！〜後編〜
- 梅まつり開催！
- 春ですよ〜
- 封筒の「アレ」！活用法を思いついたら！



『環境王』とは…

マルワYouTubeチャンネル内のシリーズの1つです。マルワの日常を『環境をテーマ』に切り抜きで皆さまにお届けするコーナーです！

動画のご視聴&チャンネル登録
よろしくお祈いします！



あえて、

再生紙を使っています！

お気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、最近再生紙による印刷物が少なくなっただと思いませんか？

古紙や使用済み紙を再利用することで、新たな木材伐採等による環境負荷低減に繋がるとして再生紙の需要が高まった時期がありました。しかしながら需要に対して供給が追いつかなく



SAVE



RECYCLE IT!

なることで古紙パルプ配合率の偽装があったり、古紙回収に伴う運搬時の温暖化ガスの排出に加え、十分な分別がなされず再生が難しい汚れや接着剤が含まれている場合が多く、製造過程での処理にも多くのエネルギーと資源が必要とされ、再生紙の製造自体が環境に負荷をかけることがあるといった問題点も抱えています。マルワでも、管理された森林保護に繋がるFSC森林認証の紙を積極的にご提案してきました。

では、なぜ？再生紙を使うのか…

今回のリニューアルにあたっては負のイメージがついてしまったからか、行き場を失った在庫再生紙を購入させていただきました。

再生紙についての功罪をこのような機会にお伝えすることで環境印刷についての普及啓発と、既にある資源の有効活用に関わればとの想いで、在庫のあるうちは再生紙のぷりんトークをお届けさせていただきます！

ご意見やご質問がありましたら、お気軽に担当者または制作部にお寄せ頂きますと幸いです。

これからもどうぞぷりんトークをよろしくお願いたします。

What' been up? 2022.11～ こんなことがありました。

2022年 11月

- ① メッセナゴヤ2022に出展しました
- ② エシカル×あいちマルシェに出展しました
- ③ 社屋のリノベーション竣工！
- ④ あいち生物多様性企業認証認証式に出席しました
- ⑤ 若宮商業高校 職場体験3日間実施

12月

- ① 防災・減災カレッジで講義を行いました
- ② 同朋大学にてSDGsの講義を行いました

2023年 1月

- ① ぷりんトーク100号記念号発刊
- ② マルワ委員会発表
- ③ 「マルワアカデミー0」開講

2月

- ① 平田中学校でキャリア教育の授業をしました

3月

- ① 名古屋ウィメンズマラソンにボランティアとして有志が参加しました
- ② 椋山女子学園高校のインターンシップを実施しました



④



③



②



①